

何を使う

機器 スマートフォンやPC など

ソフトウェア（アプリ）

インターネットクラウド

（本校では Classi のコンテンツボックスを使用）



それをどう使う（それで何ができる）

板書事項やプリントの解説等をデータ化して、インターネットクラウドで共有することで、書き写しの遅い生徒や教育上特別な支援を必要とする生徒、又は欠席している生徒に対して、復習のための教材を簡便に提供できる。

ここが変わる、活用メリット【ICT 活用 Before-After】

【 Before 】

- 黒板を見て書き写す。話を聴いてメモをする。

【 After 】 **メリット**

- 生徒
 - ・スマートフォンやPC等を使って、場所を問わず学習内容を振り返ることができる。
 - ・欠席生徒も学習内容を知る術となる。
- 教員
 - ・自分が板書した内容を保存できる。
 - ・授業進度の管理がしやすい。

機器 (台数)	スマホ	タブレット	PC	その他	学習 場面	一 斉	個 別	協 働
	○	○	○			○		
教員入力用PC1台、生徒閲覧用は生徒数分								
授業実施時に必要な環境→				インターネット接続		1人1台端末		
活用が想定 される校種	小	中	高	特	活用が想定される教科・科目等		全ての教科等	
		○	○	○	活用が想定される場面		板書、説明	